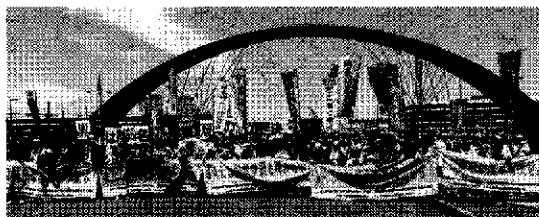


JAL争議早期全面解決を!

会社と国交省追い詰める



JAL羽田アピール行動に130名

JHU（JAL被解雇者労働組合）は、JA-L株主総会（6月23日）に向け早期解決を呼びかけ、全国各地で集会を重ねてきた。6月12日、争議団2名と支える会の2名が、空港管制塔に併設する国交省東京航空局鉄路空港事務所を訪れ、「早期解決を求める要請書」を手渡し、解決を要請した。

その後、立憲民主党北海道第7区総支部議長、客乗争議団の鈴木泰保子代表から力強い激励を受け、社民党

JHU（JAL被解雇者労働組合）は、JA-L株主総会（6月23日）に向け早期解決を呼びかけ、全国各地で集会を重ねてきた。6月12日、争議団2名と支える会の2名が、空港管制塔に併設する国交省東京航空局鉄路空港事務所を訪れ、「早期解決を求める要請書」を手渡し、解決を要請した。

北海道・釧路での行動

6月12日、争議団2名と支える会の2名が、空港管制塔に併設する国交省東京航空局鉄路空港事務所を訪れ、「早期解決を求める要請書」を手渡し、解決を要請した。

12日夜、「JAL」不當解雇撤回闘争支援する釧路集会」を40名の参加で開催。地元新聞社の取材もあり、会場は熱氣にあふれた。

会場から「国鉄闘争の仲間の気持ちはよくわかる。勝利まで支援を続ける」との連帯の発言があった。

13日は、午前中、北

海道新聞釧路支社訪問、昼間は北大通での街頭宣伝。その後、共産党釧路地区委員会、新日本婦人の会釧路支

不当解雇争議団が全国統一行動を展開 闘いの支援・連帯の輪広がる

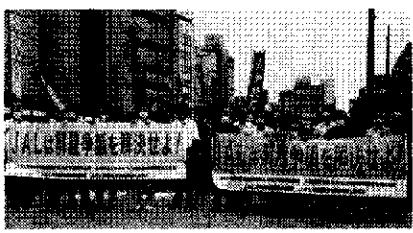


熱気あふれた釧路集会

横田厚生社会党釧路支部委員長はあいさつで「JAL」争議団の努力で会社再建時の要員は欠員であり、解雇の必要がなかつたことが明らかになつた」と解雇の不正当性を訴えた。

山口宏弥JHU委員長、客乗争議団の鈴木泰保子代表から力強い激励を受け、社民党

北海道第7区総支部議長、客乗争議団の鈴木泰保子代表から力強い激励を受け、社民党



長崎・浜町鉄橋で宣伝行動

JALと国交省が仕組んだ不当解雇と対決し、早期全面解決（原職復帰と賠償責任）のための支援活動を呼びかけた。（荒木）

部、ユニオンしづか、新社会党釧路支部への要請。

さらに、釧路新聞社報道部を訪問し、集会の案内記事掲載へのお礼と要請を行った。

街宣で「争議が続いていることは知らなかつた。頑張つて」「やつていい」とは間違つてない。もつとSNSを活用すべき」等、激励を受けた。（横田）

6月14日、長崎市街頭宣伝。その後、共

の浜町・鉄橋でJAL争議団が街頭宣伝とビラ配布を行つた。夕方、長崎地区労働者集会を開催、長崎地区労連も含め、多くの労働者が参加した。

集会でJAL争議団2名が「解雇強行により、安全運航に必要な人員を確保できない事態を招き、解雇は必要なかつた」とが明確になつた。解雇はモノ言ふう労働者の排除、組合潰しであつた。JAL争議はまだ終わつていな」と報告。

日本航空は早期解決を!!

6/28



JAL本社に要請する福田（中央）・高橋（右）両国会議員

議員福田昭夫・高橋千鶴子・石破茂など13名、参議院議員川田龍平・福島みづほなど8名による要請書「日本航空は早期に争議の解決を」がJAL赤坂社長あてに提出された。

(共産)の2人の衆院議員が出席。事前通知にもかかわらず、会議室ではなく入口のミニスペースを使つての応対、人数制限で、出てきたのは課長クラスの人財戦略部マネージャーである。山口宏弥JH委員長は「これが会社の姿勢が一国会議員に対する対応はひどい」と激しい口調で抗議した。

読み上げ、「解雇されて13年、大変なことだ。いま必要なことはジャステイス（正義）を実現すること」。希望者に再雇用の道を開いてほしい。赤坂社長に「伝えてほしい」とさす ように話をした。

また高橋議員は、「賛同人には自民党が入っている。与野党が解決を求めている。この重みをわかつてほ

い」と述べた。
会社側は「団体交渉で話をしている。赤坂社長に伝える」との回答があった。

JAL不当解雇撤回

最賃1500円実現を



高知ひろめ市場前での宣伝行動

JAL争議団の大池ひとみさんがマイクを握り、「JALの不当解雇撤回」と「早期に納得いく解決」を訴えた。

JAL闘争については①13年目に突入したJAL争議の早期解決、②JHU労組に対する差別と不当労働行為の根絶を求め、最賃制度について、①最賃の再引き上げの緊急実

「JAL不当解雇撤回、最賃1500円実現四国キャラバン」が6月6日、JR高松駅

前広場での街頭宣伝からスタートし、6月9日にかけて延べ200人が参加した。

1日目はJAL争議と最賃1500円実現7項目を要請する「労働局交渉」や「JAL支店への申入れ」、「JAL闘争の現状報告」と最賃の学習交流会、「街頭アピール」を柱に取り組んでいる。

香川県労働局に申し入れ

全国一律最賃を実現へ 四国キャラバン

を行い、4日間のキャラバンを開催した。四国キャラバンは、JAL争議の早期解決と最賃1500円実現7項目を要請する「労働局交渉」や「JAL支店への申入れ」、「JAL闘争の現状報告」と最賃の学習交流会、「街頭アピール」を柱に取り組んでいる。

JAL闘争については①13年目に突入したJAL争議の早期解決、②JHU労組に対する差別と不当労働行為の根絶を求め、最賃制度について、①最賃の再引き上げの緊急実

香川県労働局に申し入れ

の実現、③全国一律最賃とする」と、④中小企業への援助強化、⑤最賃審議会に関する全

会議、全部会、全資料の開示、⑥審議委員を柱に取り組んでいる。

翌7日は、高知、9日松山で活動

と答えた。まことに

JAL労働局長の回答に怒り心頭としている。

交渉委員「まったく誠意が感じられない答弁だ」、「ただ上申すればいいというものではない」、「現場の実態や声と一緒に上申する。

そしてどういう議論になつたか報告すべだ

いだ。

島支店長に要請、午後の労働局交渉に臨んだ。そこでハブニングが発生。交渉の責任者が発言。交渉の責任者であるO賃金室長の回答(対応)があまりにも形式的で誠意のないものだった。

6月12日、四国キャラバン実行委員会は徳

島労働局に再交渉を申し入れた。

なお、8日の高知労働局交渉、9日の愛媛労働局交渉とも要望事項にはそれなりに誠意

のある回答を得て順調に終了した。まことに

多くのキャラバンだが、怪我も病氣もなく無事、終えることができホッとしている。

労組や仲間の皆さんとの協力に感謝でいっぱいだ。